

2021年度 第2四半期

決算概要

2021年10月28日
パナソニック株式会社

Panasonic

2021年度 第2四半期決算のポイント

● 第2四半期実績

- ・ **売上高**は、情報通信向け事業や車載電池の増販により、家電、車載機器の減収をカバーし、**増収**
- ・ **調整後営業利益**は、情報通信向け等は販売の伸長により増益も、車載機器や家電(国内総需要の減速・アジア工場ロックダウン等の影響)の減販損が大きく、原材料高騰もあり、全体として**減益**
- ・ **営業利益・純利益**は、その他損益における一時益の計上により、**増益**
- ・ **フリーCF**は、ブルーヨンダー社の買収完了や在庫増等により、**マイナス**

● 年間見通し

- ・ **全社の売上高、利益ともに上方修正**
- ・ 新体制発足に伴い、新セグメントベースの見通しを公表

2021年度 第2四半期 決算概要

2021年度 年間業績見通し ① 現行セグメント

② 新セグメント

Panasonic

2021年度2Q 連結業績

(億円)

	21年度 2Q		20年度 2Q		前年差/比	
売上高	17,412		16,673		+739 (+225) ^{*3}	104% (101%) ^{*3}
調整後営業利益 ^{*1} (率)	803	(4.6%)	950	(5.7%)	▲147	85%
その他損益 ^{*2}	165		▲22		+187	—
営業利益 (率)	968	(5.6%)	928	(5.6%)	+40	104%
営業外損益	5		▲27		+32	—
税引前利益 (率)	973	(5.6%)	901	(5.4%)	+72	108%
親会社の所有者に帰属する 当期純利益 (率)	765	(4.4%)	587	(3.5%)	+178	130%
EBITDA ^{*4} (率)	1,859	(10.7%)	1,784	(10.7%)	+75	104%
為替 レート	1USDドル	110円	106円			
	1ユーロ	130円	124円			
	1人民元	17.0円	15.4円			

*1 売上高から、売上原価と、販売費及び一般管理費を控除して算出

*2 決算短信記載の「その他の損益」に「持分法による投資損益」を加えたもの

*3 為替除きの前年比/前年差

*4 営業利益と減価償却費(有形/使用権資産)、償却費(無形)の合計
貸手側のリース会計処理が適用される原資産の減価償却費相当を加算調整

Panasonic

2021年度 第2四半期 決算概要

3

2021年度2Q セグメント別実績

(億円)

	売上高	前年比 (為替影響除く)	前年差 (為替影響除く)	調整後 営業利益 (率)	前年差	その他 損益	前年差	営業 利益 (率)	前年差	EBITDA (率) ^{*1}	前年差
アプライアンス	5,992	94% (91%)	▲365 (▲546)	136 2.3%	▲221	▲102	▲103	34 0.6%	▲324	181 3.0%	▲319
ライフソリューションズ	3,726	100% (99%)	+6 (▲29)	198 5.3%	▲5	▲71	▲26	127 3.4%	▲31	253 6.8%	▲36
コネクティッドソリューションズ	2,170	114% (110%)	+259 (+191)	50 2.3%	+66	470	+466	520 24.0%	+532	607 28.0%	+540
オートモーティブ	3,576	100% (97%)	▲9 (▲115)	34 0.9%	▲64	▲61	▲14	▲27 ▲0.8%	▲78	^{*2} 216 6.0%	▲57
インダストリアルソリューションズ	3,434	112% (107%)	+355 (+204)	324 9.5%	+154	▲25	▲33	299 8.7%	+121	463 13.5%	+124
その他/ 消去・調整	▲1,486	-	+493	61	▲77	▲46	▲103	15	▲180	139	▲177
連結決算	17,412	104% (101%)	+739 (+225)	803 4.6%	▲147	165	+187	968 5.6%	+40	1,859 10.7%	+75
アプライアンス (製販連結)	6,130	95% (92%)	▲327 (▲508)	141 2.3%	▲210	▲101	▲101	40 0.7%	▲311	187 3.0%	▲306

*1 営業利益と減価償却費(有形/使用権資産)、償却費(無形)の合計

*2 貸手側のリース会計処理が適用される原資産の減価償却費相当を加算調整

Panasonic

2021年度 第2四半期 決算概要

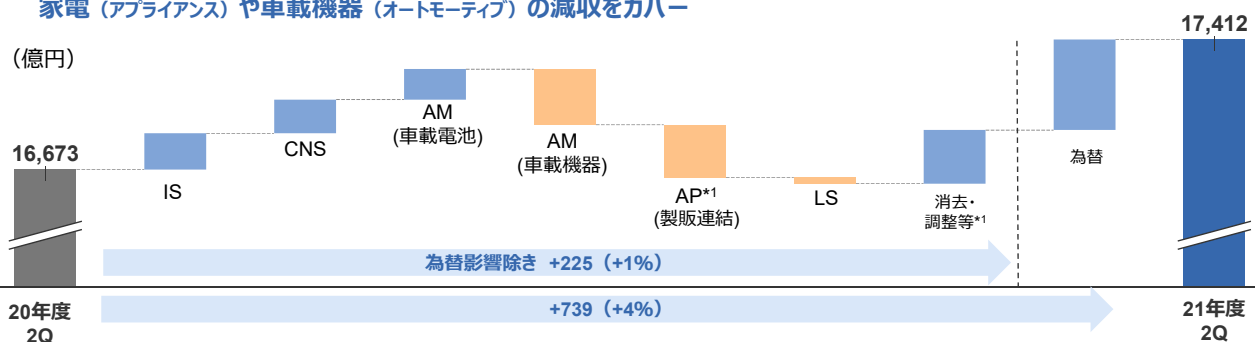
4

2021年度2Q セグメント別 増減要因 (売上高)

・売上高は増収

- 情報通信向け (インダストリアルソリューションズ、コネクティッドソリューションズ)、車載電池 (オートモーティブ) が伸長し、家電 (アプライアンス) や車載機器 (オートモーティブ) の減収をカバー

(億円)



主な増減要因

売上高	AP	中国ではホームアプライアンスが堅調に推移するも、国内家電の総需要減速やアジアのコロナ再拡大等の影響により、 減収	
	LS	アジアロックダウン、半導体調達課題による減販に対し、国内ハウジングが堅調に推移し、前年並	
	CNS	情報通信関連の旺盛な投資需要により実装機が伸長したほか、プロジェクターの増販が牽引し、 増収	
	AM	車載機器	自動車減産により、 減収
		車載電池	円筒形電池での旺盛な需要に対応した稼働増等により、 増収
	IS	車載、工場省人化、情報通信インフラ向けにコンデンサなどの受動部品や、リレー、産業用モータ等が好調に推移し、 増収	

*1 「AP(製販連結)」とセグメント情報との差異は、「消去・調整等」で調整。なお、「消去・調整等」には、AMの「その他」を含む

管理会計上の調整 (主に販売価格に関する調整) による影響は、当チャートでは各セグメントと消去・調整等で相殺して金額を表示

注：各セグメントの正式名称は以下のとおり

AP：アプライアンス、LS：ライフソリューションズ、CNS：コネクティッドソリューションズ、AM：オートモーティブ、IS：インダストリアルソリューションズ

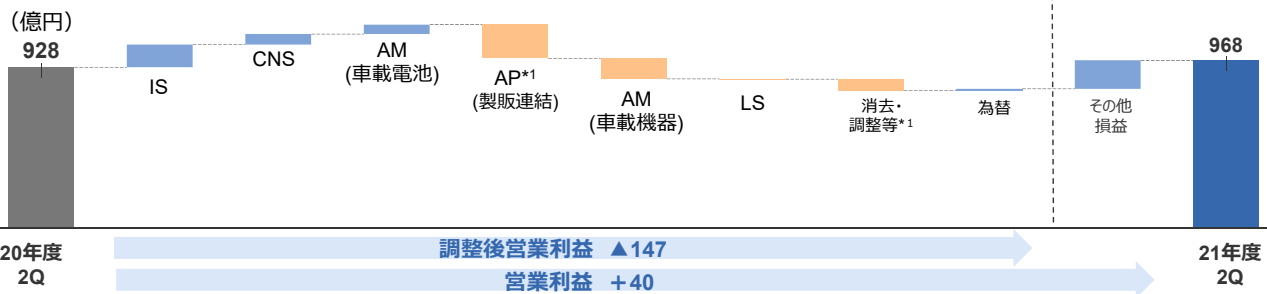
Panasonic

2021年度 第2四半期 決算概要

5

2021年度2Q セグメント別 増減要因（営業利益）

- 調整後営業利益：情報通信向け等は販売の伸長により増益も、車載機器や家電(国内総需要の減速・アジア工場ロックダウン等の影響)の減販損が大きく、原材料高騰もあり、全体として減益
- 営業利益：その他損益で一時的益(ブルーオンダー社買収に伴う既存持分の再評価益)があり、増益



主な増減要因

調整後 営業利益	AP	原材料高騰が続く中、合理化等に対応も、国内の総需要減速やアジアのコロナ再拡大等による空調・ホームアプライアンスの減販影響が大きく、 減益	
	LS	原材料高騰、半導体調達課題による減販などの影響を合理化等に対応し、前年並	
	CNS	実装機、プロジェクターの増販益や、アビオニクスの収益改善により、 増益	
	AM	車載機器	減販損の影響が大きく、 減益
		車載電池	増販益、材料合理化効果等により、 増益
IS	増販益が原材料高騰影響を上回り、 増益		
その他損益	ブルーオンダー社買収に伴う既存持分の再評価益、早期退職一時金等		

*1「AP(製販連結)」とセグメント情報との差異は、「消去・調整等」で調整。なお、「消去・調整等」には、AMの「その他」を含む

注：各セグメントの正式名称は以下のとおり

AP：アプライアンス、LS：ライフソリューションズ、CNS：コネクティッドソリューションズ、AM：オートモーティブ、IS：インダストリアルソリューションズ

ブルーオンダー社の買収完了（2021年9月）

買収の対価

80%の株式追加取得にかかる対価（2021年9月） ※ブルーオンダー社のネット有利子負債含む	7,760億円
20%の株式取得に係る対価（2020年7月）	873億円
全株式の取得対価	8,633億円

今期連結業績への主な影響

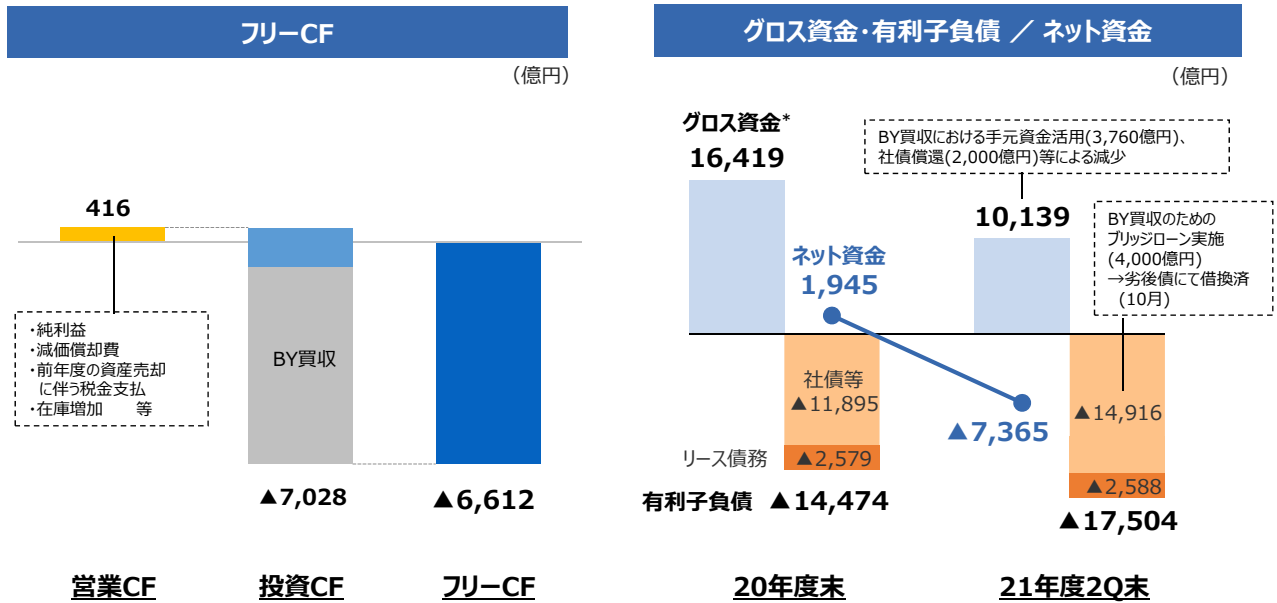
売上	約600億円
無形資産償却費※	約160億円
20%の持分の再評価益（その他損益）※	583億円

のれん・無形資産等計上額※	約9,600億円
---------------	----------

※ PPA（Purchase Price Allocation）が未了のため、暫定値であり、今後変更される可能性があります

2021年度上期 フリーキャッシュフロー・資金

- フリーCFは、ブルーオンダー(BY)社の買収完了や在庫増等により、▲6,612億円



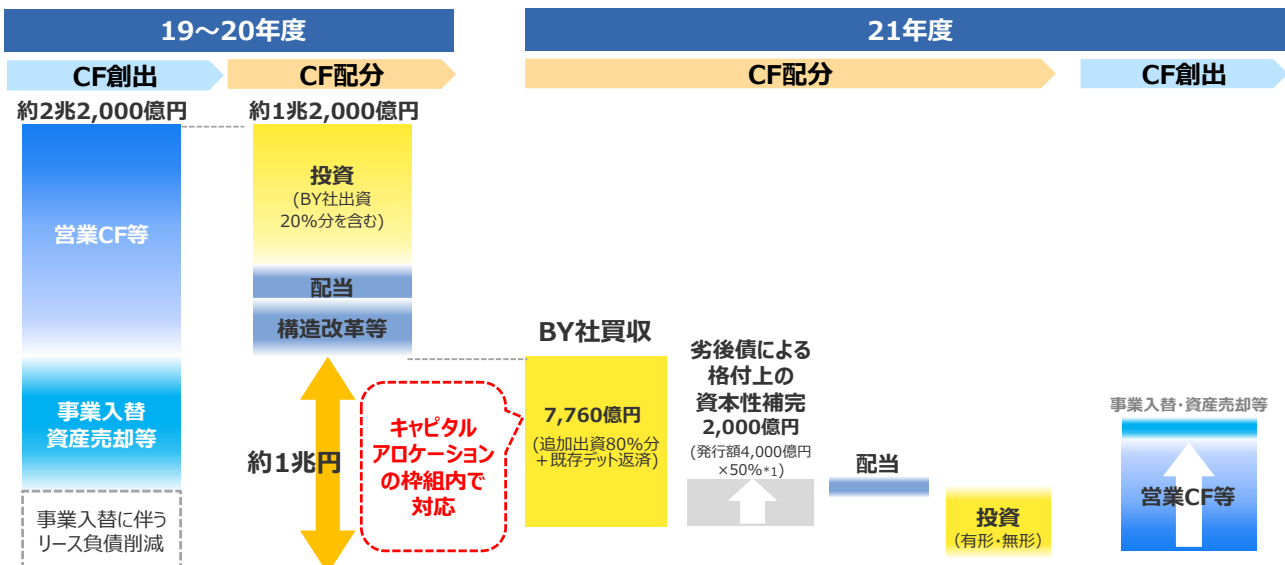
* グロス資金:「現金及び現金同等物」及び「その他の金融資産」に含まれる定期預金等の合計

キャピタルアロケーション方針とキャッシュフロー創出の取り組み

- ブルーオンダー社買収資金は、中期戦略におけるキャピタルアロケーションの枠組内で対応
- 劣後債発行(21年10月)により財務柔軟性を確保するとともに、今後も資金創出の取組みを継続

キャピタルアロケーション方針 (19~21年度)

中期に必要な資金は、事業からのCF(営業CF、事業入替)で充当
但し、成長機会を的確に捉えるため、一時的に投資が先行するケースには、柔軟に対応



(*1)格付上の資本性認定額

2021年度 第2四半期 決算概要

2021年度 年間業績見通し ①現行セグメント

②新セグメント

Panasonic

2021年度 連結業績見通しの修正

・売上高、利益ともに上方修正

(億円)

	2021年度 修正見通し (10月28日)	公表値 (5月10日)	修正額	(参考)		
				前年実績	前年比/差	
売上高	73,000	70,000	+3,000	66,988	109% 為替除き(107%)	+6,012 (+4,562)
調整後営業利益*1 (率)	4,000 (5.5%)	3,900 (5.6%)	+100	3,072 (4.6%)	130%	+928
その他損益*2	▲300	▲600	+300	▲486	—	+186
営業利益 (率)	3,700 (5.1%)	3,300 (4.7%)	+400	2,586 (3.9%)	143%	+1,114
営業外損益	0	0	—	22	—	▲22
税引前利益	3,700	3,300	+400	2,608	142%	+1,092
親会社の所有者に帰属する 当期純利益	2,400	2,100	+300	1,651	145%	+749
ROE	8.9%	8.0%	+0.9%	7.2%	—	+1.7%
EBITDA*3 (率)	7,500 (10.3%)	—	—	6,055 (9.0%)	124%	+1,445
	上期実績	下期前提	年間			
為替レート	1USDドル	110円	105円	107円	105円	+2円
	1ユーロ	131円	130円	131円	125円	+6円
	1人民元	17.0円	17.0円	17.0円	17.0円	-
					15.7円	+1.3円

*1 売上高から、売上原価と、販売費及び一般管理費を控除して算出 *2 決算短信記載の「その他の損益」に「持分法による投資損益」を加えたもの

*3 営業利益と減価償却費(有形/使用権資産)、償却費(無形)の合計。貸手側のリース会計処理が適用される原資産の減価償却費相当を加算調整

Panasonic

2021年度 第2四半期 決算概要

11

2021年度 セグメント別見通し（現行セグメント）

(億円)

	売上高	前年差	期初公表差	調整後営業利益(率)	前年差	期初公表差	その他損益	前年差	期初公表差	営業利益(率)	前年差	期初公表差
アプライアンス	25,390	+471	+590	1,060 4.2%	▲56	▲170	▲210	▲137	▲30	850 3.3%	▲193	▲200
ライフソリューションズ	15,540	+439	+240	870 5.6%	+26	▲30	▲170	▲18	▲20	700 4.5%	+8	▲50
コネクテッドソリューションズ	9,250	+1,070	+350	200 2.2%	+163	▲100	350	+587	+470	550 5.9%	+750	+370
オートモーティブ	15,510	+2,116	▲90	400 2.6%	+378	▲100	▲200	▲287	+20	200 1.3%	+91	▲80
インダストリアルソリューションズ	13,800	+1,245	+800	1,150 8.3%	+409	+250	▲60	+19	▲10	1,090 7.9%	+428	+240
その他/ 消去・調整	▲6,490	+671	+1,110	320	+8	+250	▲10	+22	▲130	310	+30	+120
連結決算	73,000	+6,012	+3,000	4,000 5.5%	+928	+100	▲300	+186	+300	3,700 5.1%	+1,114	+400
アプライアンス (製販連結)	25,790	+420	+590	1,060 4.1%	▲48	▲190	▲210	▲137	▲30	850 3.3%	▲185	▲220

Panasonic

2021年度 第2四半期 決算概要

12

2021年度 セグメント別 修正要因

主な修正要因

セグメント	修正要因
AP	売上：日本・アジアにおける総需要減で実質販売減も、為替換算影響により、 上方修正 利益：原材料高騰にはコスト抑制や合理化取組みを進めるも、国内総需要減退・アジアロックダウン等による販売減が大きく影響し、 下方修正
LS	売上：為替影響等により、 上方修正 利益：原材料高騰、半導体調達課題に合理化等で取り組むも、わずかに、 下方修正
CNS	売上：ノートPC(部材調達課題)、IFE*2(回復遅れ)は減収も実装機の増販、ブルーヨングー社の連結等で、全体では、 上方修正 利益：実装機等は伸長も、ノートPC、IFEの減販損が大きく、 下方修正 *2 IFE (Inflight entertainment)
AM	車載機器 売上：自動車減産により、 下方修正 利益：減販損に加え、部材高騰、輸送費増などにより、 下方修正 車載電池 売上：円筒形車載電池の需要増により、 上方修正 利益：増販益により、 上方修正
IS	売上：工場省人化、情報通信インフラ向けの伸長により、 上方修正 利益：増販益が原材料高騰影響を上回り、 上方修正
直轄・消去等	利益：本社・直轄部門費用の削減等により、 上方修正
その他損益	・ブルーヨングー社買収に伴う既存持分の再評価益 ・早期退職一時金等

売上高 (億円)

見通し (5/10時点) → **+3,000** → 見通し (10/28時点)

営業利益 (億円)

見通し (5/10時点) → **調整後営業利益 +100** → **営業利益 +400** → 見通し (10/28時点)

*1 「AP(製販連結)」とセグメント情報との差異は、「直轄・消去等」で調整。なお、「直轄・消去等」には、AMの「その他」を含む
注：各セグメントの正式名称は以下のとおり
AP：アプライアンス、LS：ライフソリューションズ、CNS：コネクテッドソリューションズ、AM：オートモーティブ、IS：インダストリアルソリューションズ

Panasonic

2021年度 第2四半期 決算概要

13

2021年度 第2四半期 決算概要

2021年度 年間業績見通し ① 現行セグメント

② 新セグメント

Panasonic

セグメント変更

- ・10月からの新たなグループ体制移行（22年4月からは事業会社制）に伴い、セグメントを変更
- ・22年4月からの7事業会社体制を軸に、売上高等が事業全体の10%以上となる事業を個別セグメントとして報告

現セグメント		新セグメント		
AP	・空調冷熱ソリューションズ	くらし アプライアンス	・スマートライフネットワーク	
	・ホームアプライアンス		・食品流通	
LS	・ライティング	くらし事業	・パナソニックエコシステムズ	
	・エナジーシステム		・ハウジングシステム	
CNS	・アビオニクス		・オートモーティブ	・車載機器
	・プロセスオートメーション		コネク	・現開示事業 + ブルーボンダー
	・メディアエンターテインメント	インダストリー	・システム（メカトロニクス、産業デバイス） デバイス（デバイスソリューション、電子材料）	
AM	・車載機器	エナジー	・車載電池（円筒形）※1 システム（センサーソリューション、デバイス（センサーデバイス）	
	・車載電池	その他/消去・調整（下記事業を含む）		
IS	・システム（メカトロニクス、産業デバイス、エナジーソリューション）	エンターテインメント&コミュニケーション	・スマートライフネットワーク	
	・デバイス（デバイスソリューション、エナジーデバイス、電子材料）	ハウジング	・ハウジングシステム	
その他/消去・調整		中国・北東アジア社		

※1 角形車載電池事業については、合弁会社（非連結）からの仕入・販売は主にオートモーティブ、持分法損益は消去・調整に計上
 ※2 新セグメントにおける任意開示事業の構成は、35ページを参照

Panasonic

2021年度 第2四半期 決算概要

15

2021年度 セグメント別見通し（新セグメント）

(億円)

	売上高	前年比	前年差	期初 公表差	調整後 営業 利益 (率)	前年差	期初 公表差	その他 損益	前年差	期初 公表差	営業 利益 (率)	前年差	期初 公表差	*1	
														EBITDA (率)	前年差
くらし事業	36,400	103%	+911	+1,000	1,730 4.8%	▲126	▲200	▲330	▲143	▲70	1,400 3.8%	▲269	▲270	2,350 6.5%	▲258
オート モーティブ	10,870	107%	+699	▲430	120 1.1%	+213	▲210	▲20	+5	▲20	100 0.9%	+218	▲230	650 6.0%	+260
コネク	9,250	113%	+1,070	+350	200 2.2%	+163	▲100	350	+587	+470	550 5.9%	+750	+370	1,040 11.2%	+918
インダストリー	11,000	112%	+1,154	+600	770 7.0%	+327	+140	▲30	+6	-	740 6.7%	+333	+140	1,275 11.6%	+369
エナジー	7,480	125%	+1,480	+580	650 8.7%	+272	+220	▲40	+3	▲20	610 8.2%	+275	+200	1,170 15.6%	+302
その他/ 消去・調整	▲2,000	-	+698	+900	530	+79	+250	▲230	▲272	▲60	300	▲193	+190	1,015	▲146
連結決算	73,000	109%	+6,012	+3,000	4,000 5.5%	+928	+100	▲300	+186	+300	3,700 5.1%	+1,114	+400	7,500 10.3%	+1,445

※ セグメントの前年比/前年差は非監査の数字であり、今後変更される可能性があります

*1 営業利益と減価償却費(有形/使用権資産)、償却費(無形)の合計

*2 貸手側のリース会計処理が適用される原資産の減価償却費相当を加算調整

Panasonic

2021年度 第2四半期 決算概要

16

2021年度 くらし事業 分社の見通し

(億円)

	売上高	前年比	前年差	調整後 営業 利益 (率)	前年差	その他 損益	前年差	営業 利益 (率)	前年差	*1	
										EBITDA (率)	前年差
くらし アプライアンス社	9,410	103%	+289	670 7.1%	▲124	0	▲1	670 7.1%	▲125	880 9.4%	▲107
空質空調社	7,190	105%	+322	400 5.6%	▲56	▲10	▲6	390 5.4%	▲62	570 7.9%	▲49
コールドチェン ソリューションズ社	2,880	113%	+327	45 1.6%	+65	▲10	0	35 1.2%	+65	110 3.8%	+63
エレクトリック ワークス社	10,160	103%	+320	480 4.7%	+14	▲170	▲7	310 3.1%	+7	620 6.1%	+3
中国・北東 アジア社 ²	8,080	115%	+1,075	400 5.0%	+30	▲60	▲52	340 4.2%	▲22	520 6.4%	▲11

*1 営業利益と減価償却費(有形/使用権資産)、償却費(無形)の合計

*2 くらしアプライアンス社、空質空調社、コールドチェンソリューションズ社、エレクトリックワークス社には、中国・北東アジア社の売上・利益が含まれます

Panasonic

2021年度 第2四半期 決算概要

17



本プレゼンテーションには、パナソニックグループの「将来予想に関する記述」に該当する情報が記載されています。本プレゼンテーションにおける記述のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、かかる将来予想に関する記述に該当します。これら将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされたパナソニックグループの仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しており、それらの要因による影響を受けるおそれがあります。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、かかる将来予想に関する記述に明示的または黙示的に示されるパナソニックグループの将来における業績、経営結果、財務内容に関してこれらと大幅に異なる結果をもたらすおそれがあります。パナソニックグループは、本プレゼンテーションの日付後において、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。投資家の皆様におかれましては、金融商品取引法に基づく今後の提出書類およびその他の当社の行う開示をご参照下さい。

なお、上記のリスク、不確実性およびその他の要因の例としては、次のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、当社の有価証券報告書等にも記載されていますのでご参照下さい。

- ・米州、欧州、日本、中国その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費および企業による設備投資の動向
- ・多岐にわたる製品・地域市場におけるエレクトロニクス機器および部品に対する産業界や消費者の需要の変動
- ・新型コロナウイルス感染症拡大が、パナソニックグループの事業活動に悪影響を及ぼす可能性
- ・ドル、ユーロ、人民元等の対円為替相場場の過度な変動により外貨建てで取引される製品・サービスなどのコストおよび価格が影響を受ける可能性
- ・資金調達環境の変化等により、パナソニックグループの資金調達コストが増加する可能性
- ・急速な技術革新および変わりやすい消費者嗜好に対応し、新製品を価格・技術競争の激しい市場へ遅滞なくかつ低コストで投入することができない可能性
- ・他企業との提携または企業買収等で期待どおりの成果を上げられない、または予期しない損失を被る可能性
- ・パナソニックグループが他企業と提携・協調する事業の動向（BtoB（企業向け）分野における、依存度の高い特定の取引先からの企業努力を上回る価格下落圧力や製品需要の減少等の可能性を含む）
- ・当社を持株会社とする新体制への移行により期待どおりの成果を上げられない可能性
- ・多岐にわたる製品分野および地域において競争力を維持することができなくなる可能性
- ・製品やサービスに関する何らかの欠陥・瑕疵等により費用負担が生じる可能性
- ・第三者の特許その他の知的財産権を使用する上での制約
- ・諸外国による現在および将来の貿易・通商規制、労働・生産体制への何らかの規制等（直接・間接を問わない）
- ・法規制に起因した制約・費用・法的責任の発生または法令遵守のための内部統制が不十分である可能性
- ・パナソニックグループが保有する有価証券およびその他の金融資産の時価や有形固定資産、のれん、繰延税金資産などの非金融資産の評価の変動、その他会計上の方針や規制の変更・強化
- ・ネットワークを介した不正アクセス等により、パナソニックグループシステムから顧客情報・機密情報が外部流出する、あるいはネットワーク接続製品に脆弱性が発見され、多大な対策費用負担が生じる可能性
- ・地震等自然災害の発生、感染症の世界的流行、サプライチェーンの寸断、その他パナソニックグループの事業活動に混乱を与える可能性のある要素

(参考) 2021年度 2Q累計 連結業績

(億円)

	21年度 2Q累計	20年度 2Q累計	前年比/差	
売上高	35,336	30,592	+4,744	116% 為替除き(112%)
調整後営業利益*1 (率)	1,998 (5.7%)	891 (2.9%)	+1,107	224%
その他損益*2	14	75	▲61	—
営業利益 (率)	2,012 (5.7%)	966 (3.2%)	+1,046	208%
営業外損益	46	▲34	+80	—
税引前利益 (率)	2,058 (5.8%)	932 (3.0%)	+1,126	221%
親会社の所有者に帰属する 当期純利益 (率)	1,530 (4.3%)	489 (1.6%)	+1,041	313%
EBITDA*3 (率)	3,750 (10.6%)	2,678 (8.8%)	+1,072	140%
為替 レート	1USドル	110円	107円	
	1ユーロ	131円	121円	
	1人民元	17.0円	15.3円	

*1 売上高から、売上原価と、販売費及び一般管理費を控除して算出

*2 決算短信記載の「その他の損益」に「持分法による投資損益」を加えたもの

*3 営業利益と減価償却費(有形/使用権資産)、償却費(無形)の合計貸手側のリース会計処理が適用される原資産の減価償却費相当を加算調整

Panasonic

2021年度 第2四半期 決算概要

22

(参考) 2021年度 2Q セグメント情報

アプライアンス
(製販連結)

概要
(億円)

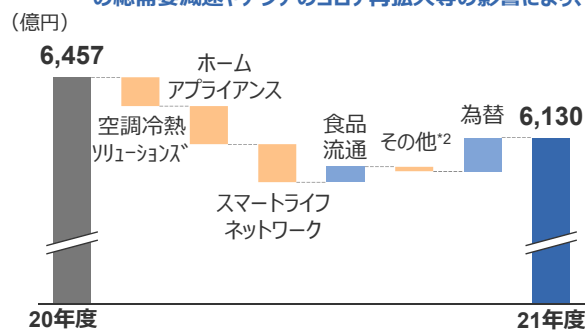
	21年度 2Q	前年比/差
売上高	6,130	95% (92%) *1
調整後営業利益 (率)	141 (2.3%)	▲210
その他損益	▲101	▲101
営業利益 (率)	40 (0.7%)	▲311

*1 為替影響を除く実質ベース

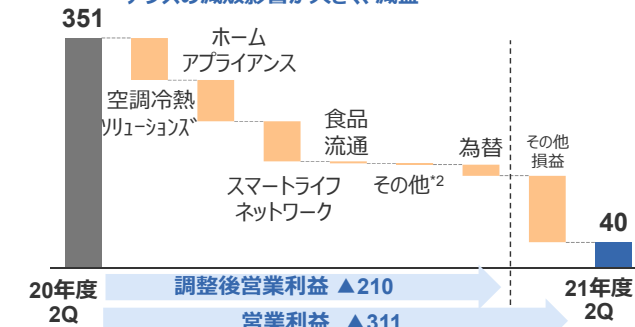
主な増減要因

売上高・調整後営業利益	増減要因
空調冷熱ソリューションズ	<ul style="list-style-type: none"> 欧州A2W等が堅調に推移も、天候不順に伴う需要減退の日本や、コロナ再拡大の影響を受けたアジア・欧州等でのルームエアコン減販をカバー出来ず、減収 合理化等推進するも、ルームエアコンの減販影響が大きく、減益
ホームアプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> 中国では冷蔵庫・洗濯機が堅調に推移するも、日本では冷蔵庫の総需要減に加えてドラム式洗濯機材料調達課題もあり、減収 経営体質強化による一定の効果はあるものの減販影響により、減益
スマートライフネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> 日本・欧州のテレビ、レコーダー等を中心とした材料調達課題により、減収 固定費削減等、経営体質強化の取り組みは継続するも、高付加価値品の多い日本の減販影響大きく、減益
食品流通	<ul style="list-style-type: none"> 北米・中国は堅調に推移、日本も回復基調継続し、増収 増販益あるも原材料高騰等の影響を受け、減益
その他損益	早期退職一時金等

売上高:中国ではホームアプライアンスが堅調に推移するも、国内家電の総需要減速やアジアのコロナ再拡大等の影響により、減収



営業利益: 原材料高騰が続く中、合理化等対応も、国内の総需要減速やアジアのコロナ再拡大等による空調・ホームアプライアンスの減販影響が大きく、減益



*2 冷熱空調デバイス、スマートエネルギーシステム、他カンパニー商材販売、直轄部門、消去等を含む

Panasonic

2021年度 第2四半期 決算概要

23

(参考) 2021年度 2Q セグメント情報

概要

(億円)

	21年度2Q	前年比/差
売上高	3,726	100% (99%)*1
調整後営業利益 (率)	198 (5.3%)	▲5
その他損益	▲71	▲26
営業利益 (率)	127 (3.4%)	▲31

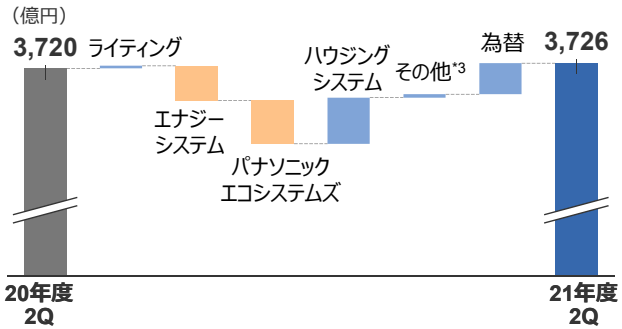
*1 為替影響を除く実質ベース

主な増減要因

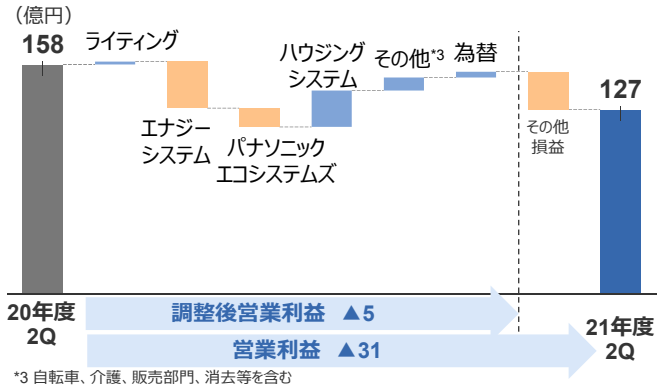
売上高	ライティング	<ul style="list-style-type: none"> 北米事業売却の影響を、国内・海外の増販でカバーし、増収 原材料高騰等を、増販益・合理化でカバーし、増益
調整後営業利益	エナジーシステム	<ul style="list-style-type: none"> 半導体調達課題により、減収 減販損、原材料高騰等により、減益
調整後営業利益	パナソニックエコシステムズ	<ul style="list-style-type: none"> エンジニアリング事業や、アジアでのコロナ影響によるIAQ*2事業の減販等により、減収 原材料高騰や減販損により、減益
調整後営業利益	ハウジングシステム	<ul style="list-style-type: none"> Web展示会等を活用した営業活動等が引き続き好調に推移し、増収増益
その他損益	早期退職一時金 等	

*2 IAQ (Indoor Air Quality)

売上高:アジアロックダウン、半導体調達課題による減販に対し、国内ハウジングが堅調に推移し、前年並



営業利益: 原材料高騰、半導体調達課題などの影響を合理化等で対応も、減益



(参考) 2021年度 2Q セグメント情報

概要

(億円)

	21年度2Q	前年比/差
売上高	2,170	114% (110%)*1
調整後営業利益 (率)	50 (2.3%)	+66
その他損益	470	+466
営業利益 (率)	520 (24.0%)	+532

*1 為替影響を除く実質ベース

主な増減要因

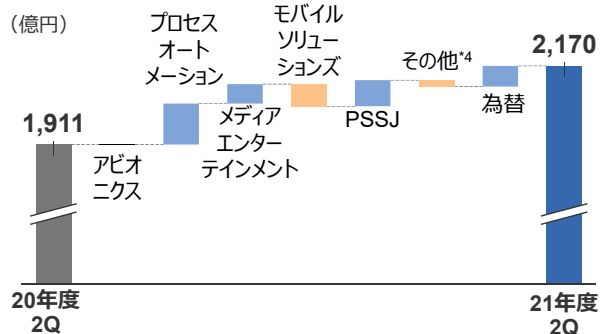
売上高	アビオニクス	<ul style="list-style-type: none"> 航空機生産の回復遅れによるIFE*2販売の減少を運行便数の回復基調にあるメンテ・リペア等の増販で挽回。販売は前年並みも、固定費改善が寄与し増益
調整後営業利益	プロセスオートメーション	<ul style="list-style-type: none"> EV関連やサーバー関連の旺盛な投資需要により、実装機の増販が牽引し、増収増益
調整後営業利益	メディアエンターテインメント	<ul style="list-style-type: none"> 市況が回復基調の北米・中国向けプロジェクター等の増販により、増収増益
調整後営業利益	モバイルソリューションズ	<ul style="list-style-type: none"> 東南アジアのロックダウンによる部品調達課題により、ノートPCの生産が影響を受け、減収減益
調整後営業利益	PSSJ*3	<ul style="list-style-type: none"> ノートPC等が減販も、五輪関連件名等の増販により、増収増益
その他損益	早期退職一時金等及び、ブルーオーダー社買収に伴う既存持分の再評価益	

*2 IFE (Inflight entertainment)

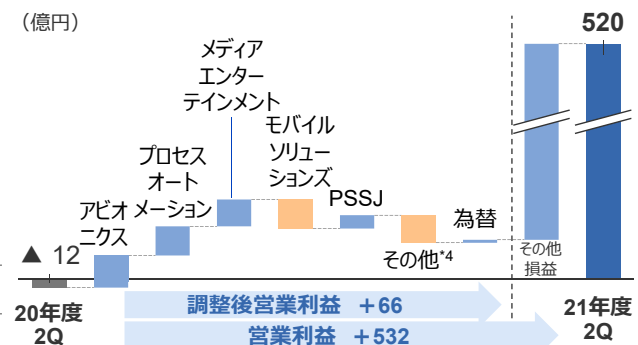
*3 パナソニックシステムソリューションズ ジャパン(株)

*4 その他事業、消去等

売上高:情報通信関連の旺盛な投資需要により実装機の販売が伸長したほか、プロジェクターの増販が牽引し、増収



営業利益: 実装機、プロジェクターの増販益や、アビオニクスの収益改善により、増益



(参考) 2021年度 2Q セグメント情報

オートモーティブ

概要

(億円)

	21年度2Q	前年比/差
売上高	3,576	100% (97%)*1
調整後営業利益 (率)	34 (0.9%)	▲64
その他損益	▲61	▲14
営業利益 (率)	▲27 (▲0.8%)	▲78

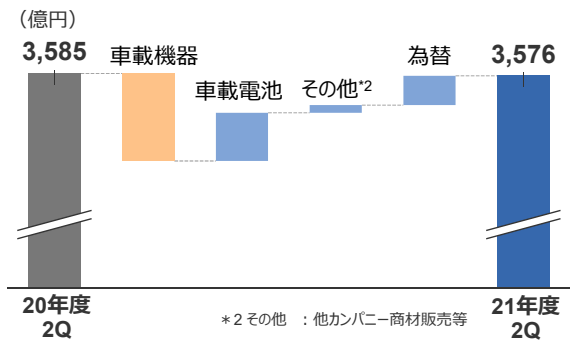
*1 為替影響を除く実質ベース

主な増減要因

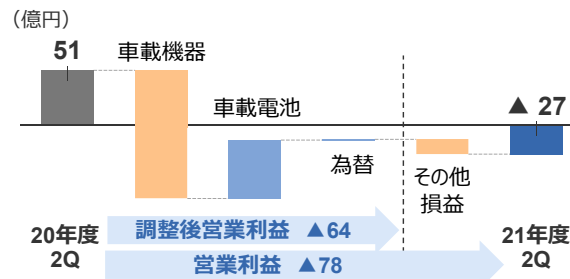
売上高・調整後営業利益	車載機器	【売上】 ・半導体逼迫、コロナ再拡大などによる自動車減産の影響を受け、減収 【利益】 ・減販損をはじめ、部材高騰、輸送費増加等により、減益、赤字。
	車載電池	【売上】 ・円筒形車載電池は、旺盛な需要増に対応した稼働増、昨年の北米工場での一部ライン停止の反動もあり増収。また新ラインは8月より稼働。 【利益】 ・円筒形車載電池は、生産増による固定費増もあるも、増販益に加え、材料合理化等が寄与し、増益
その他損益	角形車載電池の持分法損益や早期退職一時金など	

注：各開示単位に含まれる事業部 [車載機器] インフォテインメント、HMIシステムズ、車載システムズ、FICOSA [車載電池] テスラエナジー、角形車載電池事業

売上高:自動車減産により車載機器は減収も、円筒形電池での稼働増が寄与、また為替効果もあり、全体では前年並み



営業利益:車載電池での増販益、材料合理化効果などあるも、車載機器での減販損、部材高騰影響が大きく減益



(参考) 2021年度 2Q セグメント情報

インダストリアルソリューションズ

概要

(億円)

	21年度2Q	前年比/差	I S社商材*1
売上高	3,434	112% (107%)*2	2,950
調整後営業利益 (率)	324 (9.5%)	+154	313 (10.6%)
その他損益	▲25	▲33	▲25
営業利益 (率)	299 (8.7%)	+121	287 (9.7%)

*1 他カンパニー-商材(コンプレッサ、SDカード他)等を除く

*2 為替影響を除く実質ベース

主な増減要因

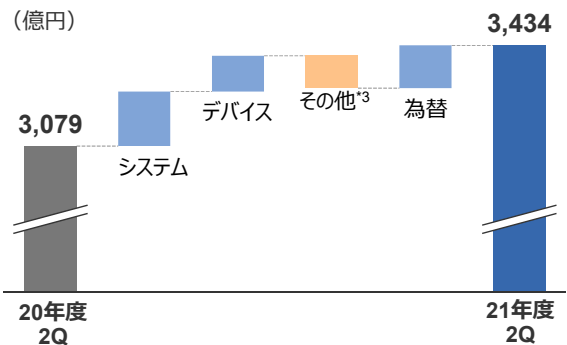
売上高・調整後営業利益	システム	・半導体製造装置や実装機向け産業用モータ等が好調に推移。車載向けリレー、蓄電システムも伸長し、増収増益
	デバイス	・情報通信インフラや車載向けにコンデンサなど受動部品が伸長、原材料高騰影響をカバーし、増収増益
	その他	・半導体事業譲渡により減収も、構造改革効果等により増益
その他損益	早期退職一時金 等	

注：各開示単位に含まれる事業

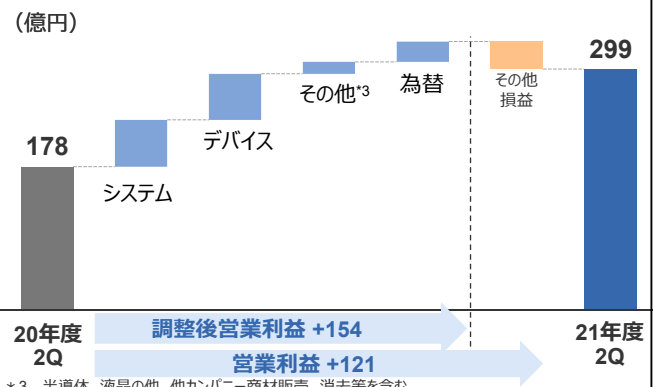
[システム] メカトロニクス、産業デバイス、エナジーソリューション

[デバイス] デバイスソリューション、エナジーデバイス、電子材料

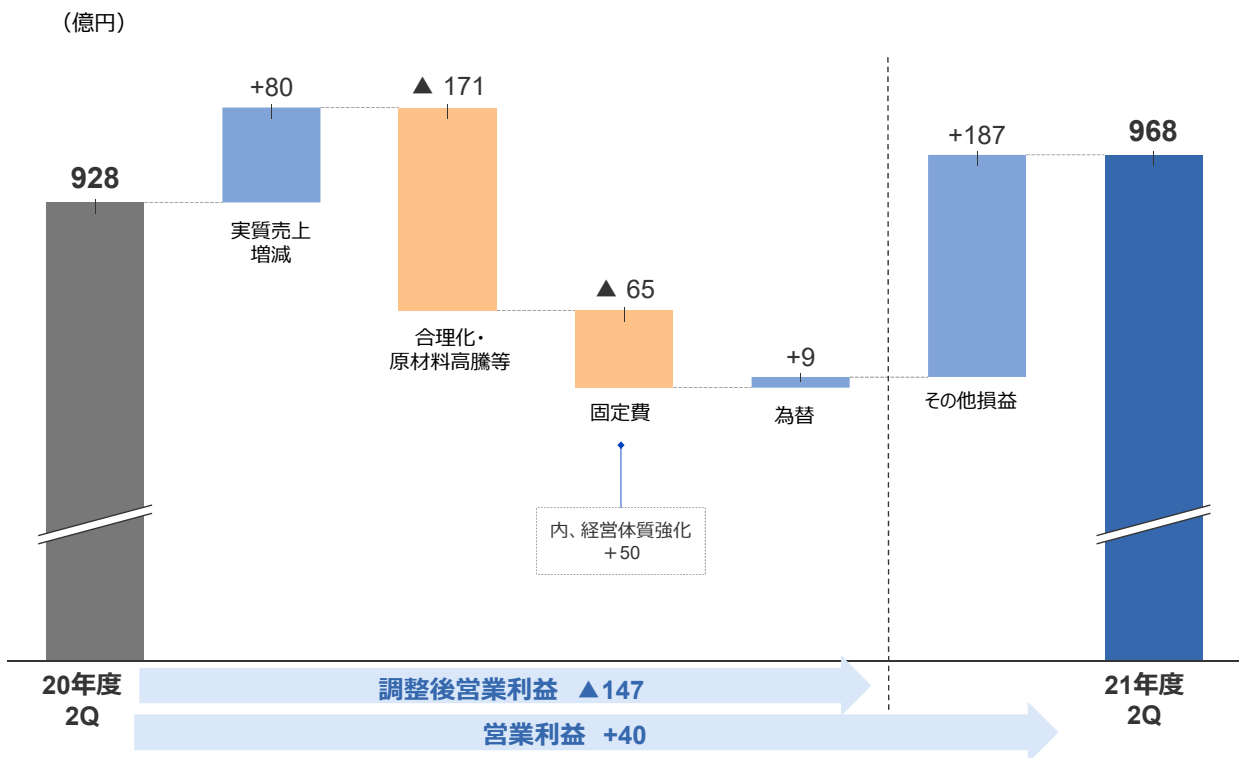
売上高: 車載、工場省人化、情報通信インフラ向けに主力商品が増収



営業利益:材料高騰影響あるも、増販益や構造改革効果等により増益



(参考) 2021年度 2Q 営業利益増減 (要素別)



(参考) 2021年度 2Q 営業利益・当期純利益

(億円)

	21年度 2Q	20年度 2Q	前年差
営業利益	968	928	+40
営業外損益	5	▲27	+32
税引前利益	973	901	+72
法人所得税費用	▲174	▲262	+88
当期純利益	799	639	+160
親会社の所有者に帰属する当期純利益	765	587	+178
非支配持分に帰属する当期純利益	34	52	▲18

(参考) 2021年度 2Q累計 実績 (新セグメント)

(億円)

	売上高	前年比	前年差	調整後 営業利益 (率)	前年差	その他 損益	前年差	営業 利益 (率)	前年差	EBITDA (率) ^{*1}	前年差
くらし事業	17,782	107%	+1,091	844 4.7%	+30	▲171	▲108	673 3.8%	▲78	1,142 6.4%	▲75
オートモーティブ	4,997	118%	+757	▲25 ▲0.5%	+111	▲21	0	▲46 ▲0.9%	+111	219 4.4%	+128
コネクト	4,255	113%	+492	121 2.8%	+302	401	+392	522 12.3%	+694	686 16.1%	+699
インダストリー	5,576	120%	+910	471 8.4%	+345	▲11	0	460 8.3%	+345	717 12.9%	+350
エナジー	3,737	133%	+937	369 9.9%	+292	▲13	▲18	356 9.5%	+274	*2 626 16.8%	+275
その他/ 消去・調整	▲1,011	-	+557	218	+27	▲171	▲327	47	▲300	360	▲305
連結決算	35,336	116%	+4,744	1,998 5.7%	+1,107	14	▲61	2,012 5.7%	+1,046	3,750 10.6%	+1,072

*1 営業利益と減価償却費(有形/使用権資産)、償却費(無形)の合計

*2 貸手側のリース会計処理が適用される原資産の減価償却費相当を 加算調整

(参考) 2021年度 2Q累計 実績 (くらし事業 分社の実績)

(億円)

	売上高	前年比	前年差	調整後 営業利益 (率)	前年差	その他 損益	前年差	営業 利益 (率)	前年差	EBITDA (率) ^{*1}	前年差
くらし アプライアンス社	4,527	104%	+156	376 8.3%	▲17	▲6	▲1	370 8.2%	▲18	471 10.4%	▲11
空質空調社	3,676	104%	+140	240 6.5%	▲34	▲20	▲23	220 6.0%	▲57	311 8.5%	▲46
コールドチェーン ソリューションズ社	1,512	124%	+292	25 1.7%	+36	▲9	▲7	16 1.1%	+29	54 3.6%	+28
エレクトリック ワークス社	4,772	106%	+253	151 3.2%	+4	▲72	+5	79 1.7%	+9	222 4.7%	▲3
中国・北東 アジア社 ^{*2}	4,301	120%	+730	204 4.7%	▲34	▲53	▲61	151 3.5%	▲95	247 5.7%	▲82

*1 営業利益と減価償却費(有形/使用権資産)、償却費(無形)の合計

*2 くらしアプライアンス社、空質空調社、コールドチェーンソリューションズ社、エレクトリックワークス社には、中国・北東アジア社の売上・利益が含まれています

(参考) 中期戦略の重点取り組みの進捗

		■ 上期（130億円）は、年間目標（200億円）に対して、着実に進捗									
		(参考)									
経営体質強化		(億円)	21年度			中期目標	19年度	20年度	21年度見通し	3年累計	
			1Q実績	2Q実績	上期実績						
	固定費削減	80	50	130	600	200	600	200	1,000		
	構造的赤字事業への対策	70	▲20	50	400	0	300	0	300		
	合計	150	30	180	1,000	200	900	200	1,300		
※ 固定費削減には、コロナによる減販と関連する固定費改善等は含まず。上記の金額は、調整後営業利益ベースの改善額											
事業ポートフォリオ改革	成長投資	現場プロセス ・ブルーヨンダー社の全株式を取得し、買収を完了(2021/9/16) 車載電池 ・北米工場に増設した1ラインの稼働が8月より開始									
	収益性の改善	・非航空業界向け衛星通信サービスを提供するITCグローバルの売却完了 (2021/4/30) ・欧州乾電池事業会社の株式譲渡が完了 (2021/6/4)									
車載収益改善	・固定費削減や生産性向上など、収益性改善に注力し、20年度に黒字化 ・車載機器で自動車減産影響等あるも、車載電池の需要増による増販益等により、21年度は増益見通し										
		(参考)									
	<AMセグメント> (億円)	21年度		19年度	20年度		21年度見通し				
		上期実績	対前年		対前年	対前年	対前年				
	調整後営業利益(率)	146 (2.0%)	+343	▲305 (▲2.1%)	22* (0.2%)	+327	400 (2.6%)	+378			
*一時費用含めても全体で黒字化											

(参考) 事業ポートフォリオ改革の進捗（2019年度以降）

注:下線箇所は21年度1Q決算からの変化点

成長に向けた投資	現場プロセス事業	- サプライチェーン・ソフトウェアの専門企業であるブルーヨンダー社の全株式を取得し、買収を完了(2021/9/16)	21年度完了
	車載用角形電池事業	- トヨタ自動車様との合併会社 プライム プラネット エナジー&ソリューションズ株式会社を設立(2020/4/1)	20年度完了
共創による競争力強化	街づくり事業	- トヨタ自動車様との合併会社 プライム ライフ テクノロジーズ株式会社を設立(2020/1/7)	19年度完了
	セキュリティシステム事業	- ポリス・キャピタル・グループ様との戦略的資本提携手続き完了(2019/11)	19年度完了
収益性の改善	半導体事業	- 半導体事業の譲渡を発表 (2019/11/28)。譲渡完了 (2020/9/1) * ディスクリート半導体事業の一部譲渡を発表(2019/4/23)。2019年11月完了	20年度完了
	液晶パネル事業	- 2021年を目途に、液晶パネルの生産終了を発表 (2019/11/21)。予定通り進捗	
	ソーラー事業	- 米・バップアロー工場の生産停止を発表 (2020/2/26)。2020年6月末に生産停止し、9月末に撤退完了 - マレーシア工場・島根工場の太陽電池の生産撤退を発表 (2021/2/1)。国内外における太陽電池の販売は継続。 21年度中に事業構造改革を完了し、エネルギーソリューション事業全体で22年度黒字化を目指す	20年度完了
	スマートライフネットワーク事業（テレビ事業等）	- テレビ事業は、不採算モデルの開発機種数絞り込み、高付加価値モデルの重点販売、コスト大幅見直し等により、20年度黒字化。 ODM活用に伴い、生産拠点をグローバルに再編。包括的な他社協業に向けて交渉中	
	ライティング事業	- 北米照明デバイス事業会社の株式の譲渡完了 (2021/3/12) - 欧州照明デバイス事業会社の株式の譲渡完了 (2020/2/下旬)	20年度完了 19年度完了
	乾電池事業	- 欧州乾電池事業会社の株式譲渡を発表 (2021/3/17)。譲渡完了 (2021/6/4)	21年度完了
	アピオニクス事業	- 非航空業界向け衛星通信サービスを提供するITCグローバルの売却完了 (2021/4/30)	21年度完了

(参考) 2021年度 任意開示事業の構成 (現体制)

	売上開示事業	主な事業部等
AP	<ul style="list-style-type: none"> 空調冷熱ソリューションズ ホームアプライアンス スマートライフネットワーク 食品流通 その他 	<ul style="list-style-type: none"> ：空調冷熱ソリューションズ事業部 ：キッチン空間事業部、ランドリー・クリーナー事業部、ビューティ・パーソナルケア事業部 ：スマートライフネットワーク事業部 ：コールドチェーン事業部、Husmann Corporation ：冷熱空調デバイス事業部、スマートエネルギーシステム事業部、他カンパニー商材、直轄・消去含む
LS	<ul style="list-style-type: none"> ライティング エナジーシステム パナソニック エコシステムズ ハウジングシステム その他 	<ul style="list-style-type: none"> ：ライティング事業部 ：エナジーシステム事業部 ：パナソニック エコシステムズ(株) ：ハウジングシステム事業部 ：自転車、介護、販売部門、消去等含む
CNS	<ul style="list-style-type: none"> アビオニクス プロセスオートメーション メディアエンターテインメント モバイルソリューションズ PSSJ その他 	<ul style="list-style-type: none"> ：Panasonic Avionics Corporation、アビオニクスビジネスユニット ：プロセスオートメーション事業部 ：メディアエンターテインメント事業部 ：モバイルソリューションズ事業部 ：パナソニック システムソリューションズ ジャパン(株) ：その他事業、消去等含む
AM	<ul style="list-style-type: none"> 車載機器 車載電池 その他 	<ul style="list-style-type: none"> ：インフォテインメントシステムズ事業部、HMIシステムズ事業部 車載システムズ事業部、Ficosa International, S.A ：テスラエナジー事業部、角形車載電池事業 ：他カンパニー商材販売等
IS	<ul style="list-style-type: none"> システム デバイス その他 	<ul style="list-style-type: none"> ：メカトロニクス事業部、産業デバイス事業部、エナジーソリューション事業部 ：デバイスソリューション事業部、エナジーデバイス事業部、電子材料事業部 ：液晶、他カンパニー商材販売、消去等含む
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原材料の販売等 	
消去・調整	<ul style="list-style-type: none"> ・ セグメントに帰属しない収益・費用や、連結会計上の調整及びセグメント間の内部取引消去等 	

注：1. 中国・北東アジア社の売上・利益は主にAPセグメントとLSセグメントに、US社の売上・利益は主にAPセグメントとAMセグメントに含まれています。
 2. オートモーティブエナジーは2020年4月、半導体は2020年9月より非連結化。
 フライム フラネット エナジー & ソリューションズ(株)の持分法による投資損益は、「AMセグメント」に含む。

(参考) 2021年度 任意開示事業の構成 (新体制)

	売上開示事業	主な事業部等	
くらし事業	くらしアプライアンス社	<ul style="list-style-type: none"> キッチン空間 ランドリー・クリーナー ビューティ・パーソナルケア 	<ul style="list-style-type: none"> ：キッチン空間事業部 ：ランドリー・クリーナー事業部 ：ビューティ・パーソナルケア事業部
	空質空調社	<ul style="list-style-type: none"> 空調冷熱ソリューションズ エコシステムズ 	<ul style="list-style-type: none"> ：空調冷熱ソリューションズ事業部 ：パナソニックエコシステムズ(株)
	コールドチェーンソリューションズ社	—	：Husmann Corporation、コールドチェーン事業部
	エレクトリックワークス社	<ul style="list-style-type: none"> ライティング エナジーシステム その他 	<ul style="list-style-type: none"> ：ライティング事業部 ：エナジーシステム事業部 ：スマートエネルギーシステム事業部
	中国・北東アジア社	—	：スマート家電事業部、住建空間事業部、コールドチェーン(中国)事業部、冷熱空調デバイス事業部、台湾事業部
	その他	—	：他セグメント商材、直轄・消去等
オートモーティブ	<ul style="list-style-type: none"> 車載コックピットシステム 車載エレクトロニクス その他 	<ul style="list-style-type: none"> ：インフォテインメントシステムズ事業部 ：HMIシステムズ事業部、車載システムズ事業部、Ficosa International, S.A ：他セグメント商材販売等 	
コネク	<ul style="list-style-type: none"> アビオニクス プロセスオートメーション メディアエンターテインメント モバイルソリューションズ PSSJ ブルーヨルダー その他 	<ul style="list-style-type: none"> ：Panasonic Avionics Corporation、アビオニクスビジネスユニット ：プロセスオートメーション事業部 ：メディアエンターテインメント事業部 ：モバイルソリューションズ事業部 ：パナソニック システムソリューションズ ジャパン(株) ：Blue Yonder Holding, Inc. ：その他事業、消去等含む 	
インダストリー	<ul style="list-style-type: none"> 制御機器・FAソリューション 電子デバイス・電子材料 その他 	<ul style="list-style-type: none"> ：メカトロニクス事業部、産業デバイス事業部 ：デバイスソリューション事業部、電子材料事業部 ：液晶、他セグメント商材、消去等 	
エナジー	<ul style="list-style-type: none"> 車載 産業・民生 その他 	<ul style="list-style-type: none"> ：モビリティエナジー事業部 ：エナジーデバイス事業部、エナジーソリューション事業部 ：直轄・消去等 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ エンターテインメント&コミュニケーション ・ ハウジング 	<ul style="list-style-type: none"> ：エンターテインメント&コミュニケーション事業部 ：ハウジングシステム事業部 	
消去・調整	<ul style="list-style-type: none"> ・ セグメントに帰属しない収益・費用や、連結会計上の調整及びセグメント間の内部取引消去等 		